

8660

四一

対戦車戦闘参考

林集田参謀部

四部

| |
|------|
| 四部 |
| 参謀部 |
| 三月廿日 |
| 機 |

陸軍省
四部
17.3.19

陸軍省
17.3.20
第68號
機

陸軍省
17.3.19
車課

昭和十七年三月八日
林集團參謀部

對戰車戰鬥ノ參考

一、判決

乾田ニ於テハ到ル處戰車、行動容易ナルヲ以テ四周ニ對シ
警戒ヲ嚴ナラシムルト共ニ豫メ肉薄攻撃班ヲ中距離以內、
要點ニ配置シ併セテ對戰車火砲ヲ以テ機ヲ失セズ之ガ撃滅
ヲ圖ルヲ要ス

二、敵戦車ハ當初二一四台ノ群ヲ以テ友軍ノ進出シアルヲ豫想セ
ラルル部落或ハ森林等ニ四周ヨリ約六一七〇〇米附近迄近接シ
來リ威力搜索ヲ實施ス

部隊ノ在ルヲ探知スルヤ急速ニ後退シ約一〇〇〇一〇〇〇米ノ間ニ離
隔シ無線ヲ以テ砲兵ト連絡シ射撃ノ觀測ヲ實施ス

著彈ハ極メテ正確ナリ

三、三月二日「ワウ」ニ於ケル宇野部隊ノ戦闘

二、三月三日「チヤイクラ」ニ於ケル宇野部隊ノ戦闘

三、三月四日「バヤジ」ニ於ケル沖部隊ノ戦闘

四、三月五日「シエジン」ニ於ケル山砲第二大隊ノ戦闘

四、輕戰車中隊將校ノ鹵獲戰車調査報告左ノ如シ

敵戰車ノ諸元調査竝ニ之カ攻撃ニ關スル意見

昭和十七年三月八日

輕戰車中隊

パヤジ¹附近ノ戰鬪ニ於テ現出セル敵戰車ノ擱坐セルモノニ付キ
調査セル諸元

諸元

一、型式

國軍ノ中戰車級以上(二〇馬以上ナリト判斷ス)ニシテ四一年

米國製「ガソリン」機關ナリ

1001

2.

| ニ、外形寸法 | | | | | | | |
|--------|------|------|---------------|--------------------|------|------|--------------------|
| 底面 | 背面 | 後面 | 側面 | 前面 | 三、裝甲 | 地上高 | 全長 |
| 不明 | 〇、一三 | 〇、三〇 | 〇、二五 一〇、三八 | 〇、 ^米 五〇 | | 〇、四二 | 四、 ^米 一〇 |
| | | | | | | 三、〇〇 | 二、一〇 |
| | | | | | | | |

四 裝 備

三七耗加農砲

七七耗車載重機

七七耗高射用機關銃

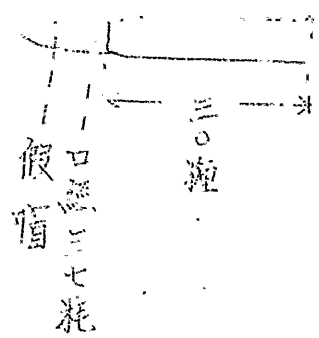
無線通信機

一

二

一

一



一五〇。附近ヨリ射撃開始十五分耗ノ装甲ヲ有スル九五六
輕戰車ヲ貫通ス

攻撃ニ關スル意見

一 野山砲級ニ依ル射撃ヲ可トス

二 近距離ニ於テ速射砲但シ前面ニ對シハ無効

側面及後面ニ對シテハ有効ナリ

三 空爆

命中セザレバ効果甚シ

四 肉薄攻撃

歩兵ヲ以テスル夜間攻撃

晝間攻撃ノ場合ハ側背ヨリ速ニ敵戦車ニ接近スルヲ要ス

近接スルニ隨ヒ死角大ナリ

3. 肉薄攻撃資材

イ. 火焰發射器

ロ. 吸着爆雷

ハ. 破甲爆雷

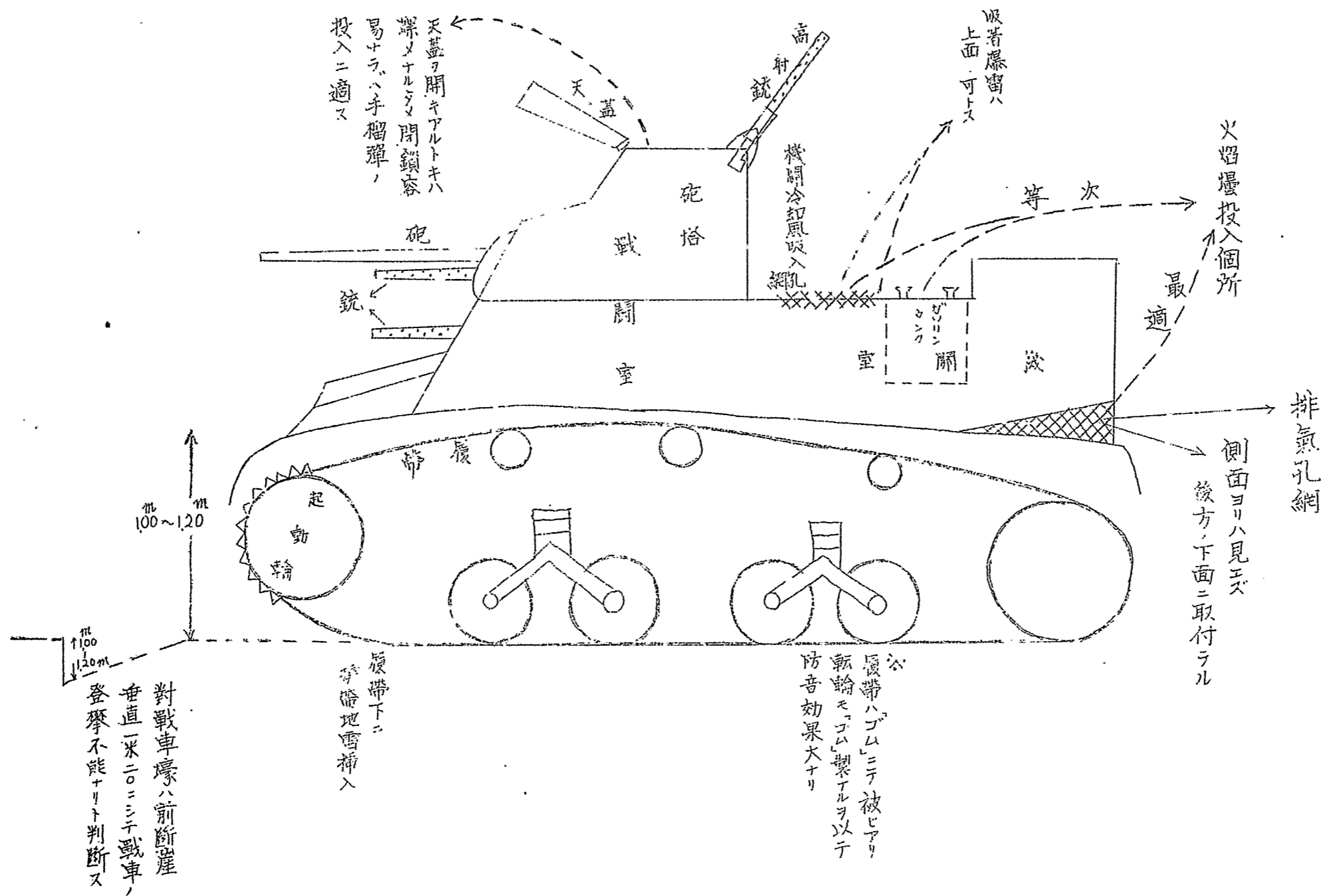
ニ. 携帶地雷(地面軟弱ナル場合ハ予メ板、上面ニ裝置スルヲ可トス)

ホ. 火焰壕

肉薄攻撃箇所竝ニ要領別紙ノ如シ

戦車對戦車戦闘

九七式中戦車級ナルヲ要ス





昭和十七年三月八日
林集團參謀部

對戰車戰鬥ノ參考

一、判決

乾田ニ於テハ到ル處戰車、行動容易ナルヲ以テ四周ニ對シ
警戒ヲ嚴ナラシムルト共ニ豫メ肉薄攻撃班ヲ中距離以內、
要點ニ配置シ併セテ對戰車火砲ヲ以テ機ヲ失セズニテ擊滅
ヲ圖ルヲ要ス

1007

二、敵戦車ハ當初二一四台ノ群ヲ以テ友軍ノ進出シ下ルヲ豫想セ
 ヲルル部落或ハ森林等ニ四周ヨリ約六一七〇〇米附近迄近接シ
 來リ威力搜索ヲ實施ス

部隊ノ在ルヲ探知スルヤ急速ニ後退シ約一〇〇〇一ニ〇〇〇米ノ間ニ離
 隔シ無線ヲ以テ砲兵ト連絡シ射撃ノ監視ヲ實施ス
 普降ハ極メテ正確ナリ

三、二月二日「ワウ」ニ於ケル宇野部隊ノ戦闘

二、三月三日「キヤークラ」ニ於ケル宇野部隊ノ戦闘

三、三月四日「バヤシ」ニ於ケル沖部隊ノ戦闘

四、三月五日「シエジン」ニ於ケル山砲第二大隊ノ戦闘

四、輕戰車中隊將校ノ鹵獲戰車調査報告左ノ如シ

敵戰車ノ諸元調査竝ニ之カ攻撃ニ關スル意見

昭和十七年三月八日

輕戰車中隊

バヤジ⁷附近ノ戦闘ニ於テ現出セル敵戰車ノ攔阻セルモノニ付キ
調査セル諸元

諸元

一、型式

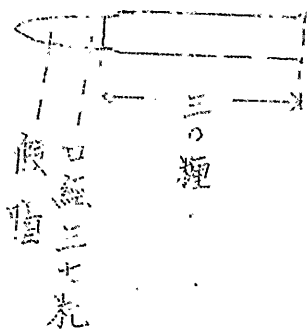
國軍ノ中戰車級以上(二〇t以上ナリト判断ス)ニシテ四一年

米國製ガソリン機關ナリ

| | | | | | 二、外形寸法 | | | |
|----|------|------|---------------|-------------------|--------|------|------|-------------------|
| 底面 | 背面 | 後面 | 側面 | 前面 | 二裝甲 | 全高 | 全巾 | 全長 |
| 不明 | 〇、一三 | 〇、三〇 | 〇、二五 一〇、三八 | 〇、五〇 ^米 | | 〇、四二 | 三、〇〇 | 二、一〇 |
| | | | | | | | | 四、一〇 ^米 |

四、裝備

- 三七 耗加農砲
- 七七 耗車載重機
- 七七 耗高射用機關銃
- 無線通信機



一、附近ヨリ射撃開始十五、六耗ノ裝甲ヲ有スル九五式
 輕戰車ヲ發進ス

攻撃ニ關スル意見

一、野山砲隊ニ於テ射撃ヲ可トス

二、近距離ニ於テ速射砲但シ前面ニ對シハ無効

側面及後面ニ對シテハ有効ナリ

三、空爆

命中ニ至ルハ効果甚シ

四、肉薄攻撃

歩兵ヲ以テスル夜間攻撃

晝間攻撃ノ場合ハ側面ヨリ遠ニ敵戦車ニ接近スルヲ要ス

近接スルニ隨ヒ死向火ナリ

3. 肉薄攻撃資材

イ. 火焰發射器

ロ. 吸着爆雷

ハ. 破甲爆雷

ニ. 携帶地雷 (地面軟弱ナル場合ハ予メ板ヲ上面ニ裝置スルヲ可トス)

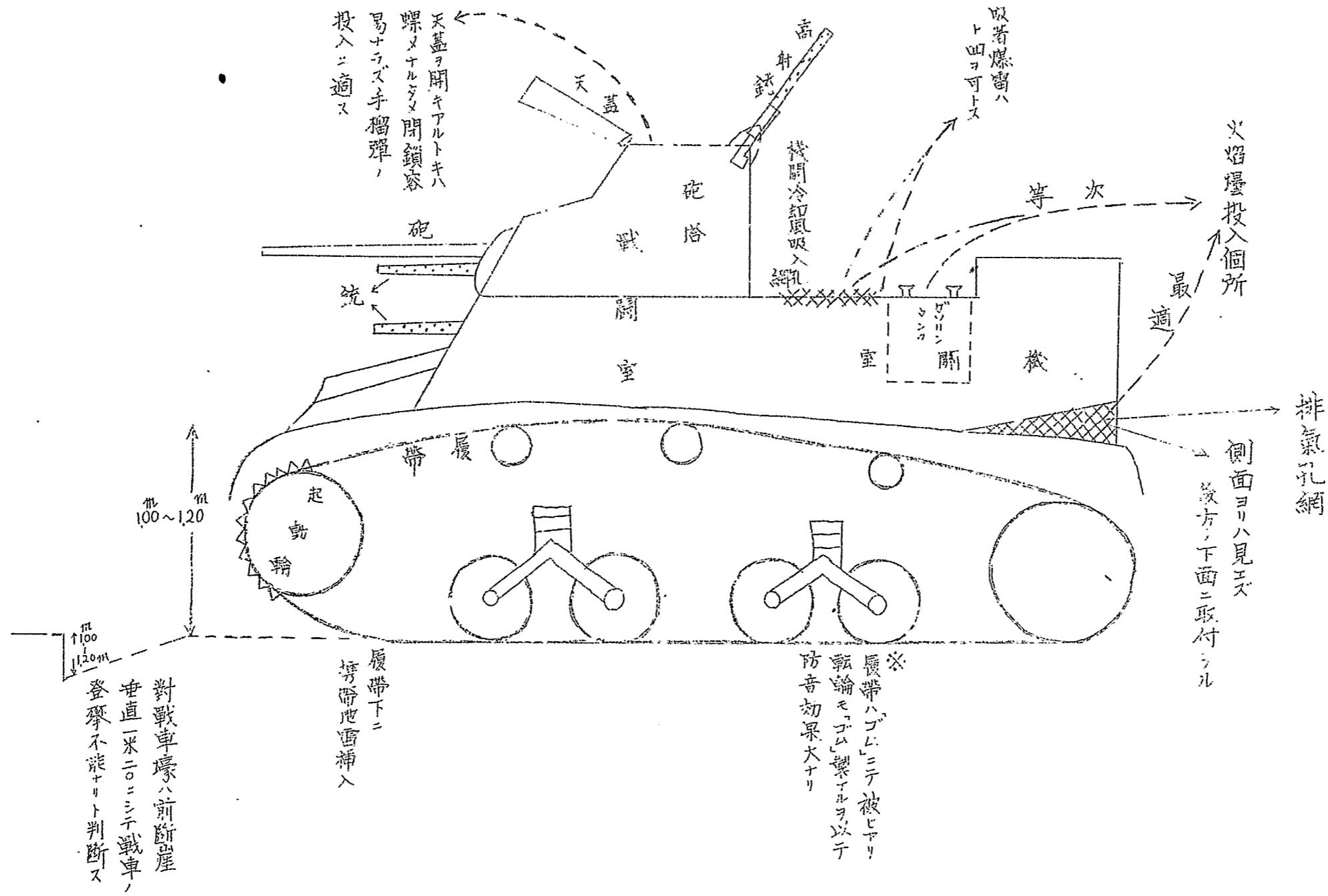
ホ. 火焰壘

肉薄攻撃箇所竝ニ要領別紙ノ如シ

五. 戦車對戦車戦闘

九七式中戦車級ナルヲ要ス

別紙



機密

昭和十七年三月八日
林集團參謀部
印

對戰車戰鬥ノ參考

一、判決

乾田ニ於テハ到ル處戰車ノ行動容易ナルヲ以テ四周ニ對シ
警戒ヲ嚴ナラシムルト共ニ豫メ肉薄攻撃班ヲ中距離以內
要點ニ配置シ併セテ對戰車火砲ヲ以テ機ヲ失セズニシテ擊滅
ヲ圖ルヲ要ス

二、敵戦車ハ當初ニ一四台ノ群ヲ以テ支軍ノ進出シテルヲ豫想セ
 ヲルル部落或ハ森林等ニ四周ヨリ約六一七〇米附近迄近接シ
 来リ威力搜索ヲ實施ス

部隊ノ在ルヲ探知スルヤ急速ニ後退シ約一〇〇〇一ニ〇〇〇米ノ間ニ離
 隔シ無線ヲ以テ砲兵ト連絡シ射撃ノ實施ヲ實施ス

敵機ハ砲火ヲ避テ近ナリ

三、三月二日「ワウ」ニ於ケル宇野部隊ノ戦闘

2、三月三日「チヤークラ」ニ於ケル宇野部隊ノ戦闘

3、三月四日「バヤジ」ニ於ケル沖部隊ノ戦闘

4、三月五日「シエジン」ニ於ケル山砲第二大隊ノ戦闘

四、輕戰車中隊將校ノ鹵獲戰車調査報告左ノ如シ

敵戰車ノ諸元調査竝ニ之カ攻撃ニ關スル意見

昭和十七年三月八日

輕戰車中隊

「バヤジ」附近ノ戦闘ニ於テ現出セル敵戰車ノ擱坐セルモノニ付キ
調査セル諸元

諸元

一型式

國軍ノ中戰車級以上(二〇〇以上ナリト判斷ス)ニシテ四一年

米國製「ガリン」機關ナリ

| | | | | | | | ニ外形寸法 | |
|----|------|------|---------------|--------------------|------|------|--------------------|--|
| 底面 | 背面 | 後面 | 前面 | 前面 | 高さ | 全長 | 全長 | |
| 不明 | 〇、一三 | 〇、三〇 | 〇、二五 一〇、三八 | 〇、 ^米 五〇 | 〇、四二 | 三、〇〇 | 四、 ^米 一〇 | |

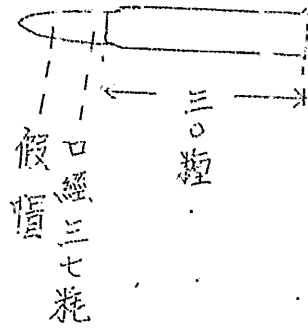
四 裝 備

三七耗加農砲

七七耗車載重機

七七耗高射用機關銃

無線送信機



一五〇附近ヨリ射撃開始十五分耗ノ装甲ヲ有スル九五式
 輕戰車ヲ貫通ス

攻撃ニ關スル意見

一、野山砲級ニ依ル射撃ヲ可トス

二、近距離ニ於テ速射砲但シ前面ニ對シハ無効

側面及後面ニ對シテハ有効ナリ

三、空爆

命中セザレバ効果無シ

四、肉薄攻撃

歩、工兵ヲ以テスル夜間攻撃

晝間攻撃、場合ハ側背ヨリ速ニ敵戦車ニ接近スルヲ要ス

近接スルニ隨ヒ死角大ナリ

3. 肉薄攻撃資材

イ. 火焰發射器

ロ. 吸著爆雷

ハ. 破甲爆雷

ニ. 携帶地雷(地面軟弱ナル場合ハ予メ板ノ上面ニ裝置スルヲ可トス)

ホ. 火焰壕

肉薄攻撃箇所竝ニ要領別紙ノ如シ

五. 戦車對戦車戦闘

九七式中戦車級ナルヲ要ス

